

2025年

2月

ほけんだより

中宮まぶね保育園

気温が低く乾燥した日が続いています。2月3日は、暦の上では立春で春を迎える時期とされていますが、一般的に1月下旬から2月にかけて最も寒くなると言われています。感染症もまだまだ流行っているため、手洗い・うがいをしっかり行い、予防に努めましょう。

効果的な手洗いの方法



1月に報告のあった感染症
アデノウイルス感染症 3名
インフルエンザA型 13名
溶連菌感染症 8名

手指についたウイルスの対策は、洗い流すことが最も重要です。

手や指に付着しているウイルスの数は、流水による15秒の手洗いで1/100に、石鹸などで10秒揉み洗いし、流水で15秒すすぐと1/10000に減らせます。

手洗いのタイミング

細菌やウイルスは、感染症にかかっている人の手のひらや、その人が触ったドアノブ、手すり、テーブルなどについていることがあります。こういった場所を触って、自分の手のひらや指に細菌やウイルスがついている状態で、自分の目、鼻、口などの粘膜を触ってしまうことで感染してしまう可能性があります。

外から帰ってきた時、ごはんを食べる前、咳や鼻をかんだ後、トイレの後に手を洗うのを習慣にするとよいでしょう。

豆まきの注意～5歳以下の子どもに豆類を食べさせないで～

もうすぐ節分です。節分の豆まきで用いられることの多い煎り大豆など、硬い豆やナッツ類は、奥歯が生えそろわず、噛み砕く力や飲み込む力が十分でない子どもは、窒息や誤嚥のリスクがあります。消費者庁は、5歳以下の子どもに豆類を食べさせないよう呼び掛けています。豆まきの際は、小袋に入れた物を使用したりするなど、工夫して楽しむようにしましょう。また、物を口に入れたままで、走ったり、笑ったり、泣いたり、声を出したりすると、不意に吸い込んでしまい、窒息・誤嚥するリスクがあります。

